

日能研		6年						
		算数						
学習内容		夏期講習 平面図形／割合と文章題／数の性質／規則性／立体図形／速さ／場合の数						
家庭学習 ポイント		夏期講習はこれまでの全分野の総復習であり、演習が中心の授業になります。総花的な演習になりますが、夏期講習開始までに自分の弱点ポイントを把握して、1つでも補強した上で夏期講習に臨むことができたでしょうか。授業は多くの教室で14:00~20:35、そして日数はテストを含めて28日間とかなりの拘束時間になります。どうしても「忙殺」されがちになりますが、少しでも有效地に授業を活用するために、「次の授業で自分が得るものはなにか」を意識して取り組むこと、そして復習のサイクルをしっかりと回すことが大切です。整数問題では素因数分解で糸口を探る、相似な三角形を見たら角度の同じ角に同じ印をつける、数表は縦、横のそれぞれ1列目にルールを見つける、線分図は左端を揃えて同じ量は上下揃える、などあらゆる分野の問題の「糸口」を次々に思い出しながら演習していく授業になりますが、忘れていたことや知らなかったことは必ずメモし、できる限りその場で覚えてしまうこと（次の日の午前中に家庭学習で再度確認）など、集中してルーティンに取り組むことがポイントです。つねに問題を演習しながら「この問題の最大のポイントは何だったか」を考え進めるようにしましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	夏期講習の復習のサイクルは決まってきたましたか？		チェック				
	解決策	「こなすだけ」にならないよう、集中して考えながら進めていきましょう		<input type="checkbox"/>				
	チェック2	1問演習するたびに「得られたもの」がありますか？		チェック				
	解決策	演習した問題のそばにメモしながら進めるのも良いでしょう		<input type="checkbox"/>				
	チェック3	「わかつっていたのに間違った」「考え方は先生と同じなのに不正解」は多くないですか？		チェック				
	解決策	多い場合は「処理力」不足です。計算手順などを見直してみましょう		<input type="checkbox"/>				
	チェック4	考え、解く過程をしっかりとノートに残していますか？		チェック				
	解決策	直しのときにどこが間違ったか確認でき、書く力も鍛えられます		<input type="checkbox"/>				
	チェック5	お盆の数日間の休みにすることを決めていますか？		チェック				
	解決策	学校の宿題もありますが、講習会で見えた課題を解決する時間もとりたいですね		<input type="checkbox"/>				
日能研		6年						
		国語						
学習内容		•解法技術からのアプローチ 手がかりの探索・解釈・類推／文章の前後関係・全体の流れ／設問形式の研究・記述・乱文整序・脱文挿入 •文章形式からのアプローチ 文学的文章の読解／説明的文章の読解／詩／短歌／俳句 •語句 ことばの意味・用法／同義語・対義語／ことわざ・慣用句／敬語／四字熟語／品詞の用法／誤文訂正／かなづかい						
家庭学習 ポイント		夏期講習ではどんどん問題を演習し、読解に必要な技術を確認し、入試問題レベルの文章への「慣れ」を育てていきます。テキストの構成は各回がそれぞれ「心情1」「選択肢」など、読み方や解き方を重視したものとなっています。また、特に後半の回は、「科学」「文化」「家族」といったテーマ別に文章が分けられています。他教科も同様ですが、1回1回の授業で「自分は何ができるようになったのか」「どんな知識を得たのか」の確認、整理をしながら学習をすすめることが大切です。そのためにはあらかじめ「何を学ぶ必要があるのか=入試に対応するために、いま自分に足りていない力は何か」を知っておくことが理想的です。過去の公開模試や育成テストを見返し、自分に足りないのは記述を書く力なのか、選択肢を正確に選ぶ技術なのかなど、「今の自分の力」を客観的に把握しておくことは重要です。その上で「読むときはこういう言葉に注目して線を引こう」「選択肢問題はこういう手順で解こう」「抜き出し問題はこういう手順で解こう」といったことを問題から学んでいくことが大切です。						
課題の把握と解決策	チェック1	物語文は「場面の変化=登場人物の心情の変化」をとらえていますか？		チェック				
	解決策	物語文においては定番の表現技法です		<input type="checkbox"/>				
	チェック2	登場人物の言動や情景描写から心情を読み取ることができますか？		チェック				
	解決策	物語文の読解の最大のポイントは「心情」を読み取ることにあります		<input type="checkbox"/>				
	チェック3	論説文では「事実」と「筆者の考え方」を区別しながら読めていますか？		チェック				
	解決策	実際に本文を四角などでくるんで区別してもいいでしょう		<input type="checkbox"/>				
	チェック4	「テストから学ぶ」姿勢で受けられていますか？		チェック				
	解決策	結果も大切ですが「テスト直しの結果、次から解ける問題が増える」ことが最も大切です		<input type="checkbox"/>				
	チェック5	語句の学習をコツコツと続けていますか？		チェック				
	解決策	朝学習など良い習慣は夏休み中も継続しましょう		<input type="checkbox"/>				

日能研	6年							
	理科							
学習内容	夏期講習 水溶液の性質／溶解度／気体の発生と性質／中和反応／燃焼／地層と岩石／気象／星／月／太陽／力学（ばね、てこ、浮力、かっ車と輪軸、物体の運動）／熱と水・空気の変化／植物のつくりと働き／動物の特ちょう／生物どうしのつながり／人体の特ちょう／音／光／電気回路／電流と発熱／電磁石							
家庭学習 ポイント	夏期講習は他教科同様、これまでのすべての単元の応用学習、演習となります。夏期講習開始までに自分の弱点を1つでも多く把握し、潰して臨むことができたでしょうか。すべての単元をどんどん演習していきますから、もっとも避けたいのは「とにかくこなす」状態や「解きっぱなし」になることです。そうならないよう、つねに「この問題からは○○ということを学んだ」「この考え方は別の問題で使ってみよう」「もしも入試に出たら正解できるように、手順を覚えておこう」と、1問1問から「自分が何を学んだか」を意識して取り組んでいきましょう。特に知識分野に関しては「メモリーチェック」を活用しましょう。その日の授業単元の基本事項をメモリーチェックでおさらいしてから授業に臨むと授業の理解が深まります。メモリーチェックは内容がやや易しいため、難関校志望のお子さんは「魔法ワザ」「コアプラス」など少し詳しいテキストを併用するのがよいかもしれません。計算分野に関しては、とにかく分野によって「定番」の考え方、書き方、整理のしかたを思い出し、実践することが重要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	化学計算においては「ことばの式」に整理して比例計算ができますか？	チェック					
	解決策	「水素+酸素→水」といった式に数字を入れて計算しましょう	<input type="checkbox"/>					
	チェック2	ばねの問題では「10g・・・2cm」といった整理で比例計算ができますか？	チェック					
	解決策	「わかっている」とあっても書いて整理するのが「本番でミスらない子」の学習法です	<input type="checkbox"/>					
	チェック3	てこの問題では「かかる力の大きさ×支点までの距離」を正確に計算していますか？	チェック					
	解決策	間違う子の多くは計算ミスではなく「支点までの距離」を間違っています	<input type="checkbox"/>					
	チェック4	溶解度計算では「水温 水量 とける量」を書き出して比例計算ができますか？	チェック					
	解決策	小数第3位、4位までの小数計算に負けない集中力、マインドセットも大切です	<input type="checkbox"/>					
	チェック5	理科の計算問題の最大のポイントは「整理力」だと理解していますか？	チェック					
	解決策	上記4つの項目だけではないですが、どれだけ実践できるかが最大のポイントです	<input type="checkbox"/>					
日能研	6年							
	社会							
学習内容	夏期講習 国土・地形・気候／農水産業／工業／資源と貿易／古代・中世・近世・近現代／憲法三原則／国会・内閣・裁判所／予算・地方自治							
家庭学習 ポイント	他教科同様、夏期講習の学習内容は、これまでのすべての総復習と演習になります。演習が中心の授業であり、これまでのような「教えてもらって学ぶ」ではなく「解くことで自分に不足していることに気づき、補強する」という授業です。知識部分で「穴」が多い状態で臨むと、「解けない」ことを繰り返すことになります。夏期講習開始までに「知識の穴埋め」が不十分なまま夏期講習を迎えた場合は、並行作業でいいので「次の授業の内容について、知識の穴埋めをする」ということをやってみてください。その日の午前中に、社会の当該単元の暗記を一巡させて授業に臨む、というサイクルです。これは夏期講習だけでなく、9月以降の日曜志望校別特訓も同様です。演習授業は「8割くらい分かっている」「だいたい覚えている」状態で問題を解き、そこで見つかった「穴」を埋めていく作業なので、最初から抜けていたり分野がはっきりしている場合は、その部分の理解を深めたり覚えたりする作業に時間が必要です。都度でもいいのでやりながら授業に臨むと、効果は上がります。ぜひ実行してください。							
課題の把握と解決策	チェック1	「苦手」と分かっている範囲が明確になっていますか？	チェック					
	解決策	「あれもこれも」となるなら上記「学習内容」の項目くらい大雑把なところから絞っていきましょう	<input type="checkbox"/>					
	チェック2	知識の補強に使うテキストは決まっていますか？	チェック					
	解決策	「メモリーチェック」でも「コアプラス」でもいいでしょう	<input type="checkbox"/>					
	チェック3	地名、人名などについて漢字で記憶していますか？	チェック					
	解決策	この夏知識を固めていくなら、ぜひ漢字で記憶していってください	<input type="checkbox"/>					
	チェック4	地理分野の知識があやふやになっていませんか？	チェック					
	解決策	数ヶ月、地理に接していないので、忘れてしまった事柄が増えないようにアップデートしましょう	<input type="checkbox"/>					
	チェック5	公民内容について、今ひとつピンときていない状態ではないですか？	チェック					
	解決策	いちばん学習する機会も時間も乏しい割に、内容は高度です。この夏「仕上げる」意識で	<input type="checkbox"/>					